

## はじめに

近年、核家族化や都市化の進行といった社会の変化の影響や、家庭や地域の教育力の低下、規範意識や人間関係の希薄化などを背景として、子供たちをめぐる様々な課題が生じています。そのような中、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養うことを目的とした特別活動のより一層の充実が求められています。

昨年度、生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校の実施要項に、各教科や特別活動等において、体験活動を充実させることで、社会性をはぐくみ、児童生徒間の絆を強め、望ましい集団を育成することを明記し、指導にあたっては、ねらいを明確にし、他の教育活動との関連を十分に図り、組織的、計画的に実施すると決めました。この実施要項を踏まえ、各校において、児童生徒自らが課題を発見、解決するといった主体的な活動を推進するとともに社会奉仕活動や異年齢交流等を通じて児童生徒の自己肯定感を育成する取組を実施していただき2年目になりました。

今年度も、各校での取組を「心を耕す積極的な生徒指導を推進する特別活動の取組事例」としてまとめました。

本取組事例を参考にいただき、今後の特別活動のより一層の充実に役立つことを願っています。

平成29年6月

広島県教育委員会